

平成29年3月24日

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類を死亡させる恐れのあるプランクトンは確認されませんでした。プロロセントラム シグモイデスと呼ばれるプランクトンが最大0.23細胞/ml確認されました。このプランクトンは基本的には魚介類には無害ですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、結果として魚介類を弱らせてしまう可能性がありますので、今後、海色や飼育魚の状態を注視し、異常がみられる場合は、宿毛漁業指導所もしくはすくも湾漁協にご連絡ください。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大で0.62細胞/ml確認されました。

※(本日は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しております。)

採集地点 採水時間 透明度	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	プロロセントラム シグモイデス	アレキサンドリウム属
<b>ヒロウラ① (別図①)</b> 採水時間 9:28 透明度 - m	0.0	-	-	-	0.05	0
	2.0	-	-	-	0.14	0
	5.0	-	-	-	0	0.08
	10.0	-	-	-	0.23	0.13
<b>ヒロウラ② (別図①)</b> 採水時間 9:49 透明度 - m	0.0	-	-	-	0.09	0
	2.0	-	-	-	0	0
	5.0	-	-	-	0.02	0.32
	10.0	-	-	-	0	0.62
<b>田ノ浦 (別図⑧)</b> 採水時間 10:07 透明度 -m	0.0	-	-	-	0.19	0.08
	2.0	-	-	-	0.19	0
	5.0	-	-	-	0.09	0.16